

機器紹介 >>>>

平成30年度に設置した機器を紹介します。

「輪郭形状測定機」 公益財団法人JKAの補助金により整備され、導入説明会を開催しました。

【概要】

スタイラスと呼ばれる触針を用いて対象物の表面をなぞることで、その輪郭形状を測定、記録する装置です。両側円すいスタイラスとの組合せにより、上下面の連続測定が出来ます。従来、測定する事が困難だった、ねじの有効径等を上下面連続データを用いて簡単に解析が可能です。

【メーカー】株式会社ミットヨ

【型式】CV-4500W8

【仕様】

測定範囲：X軸:200mm, Z軸±30mm

コラムストローク：500mm

指示精度：

X軸：±(0.8+0.02L) μm

L=駆動長さ (mm)

Z軸：±(0.8+2H/100) μm

H=水平位置からの測定高さ (mm)

追従角度：登り77°，下り83°

駆動部傾斜角度：±45°

【導入説明会】

2月8日に「輪郭形状測定機」の導入説明会を当センターで開催し、18名(9機関)の参加がありました。今回のセミナーでは、座学による各機器の勉強会や実際の機器を使ったデモが行われ、活発な質疑応答が行われました。

このような説明会などを通じ、最新機器の設備利用や依頼試験・分析の利用促進を図っていきます。

「熱伝導率測定装置」 県費により整備されました。

【概要】

材料の熱伝導率を測定するための試験装置で、国際規格に準拠した試験が可能です。

【メーカー】英弘精機株式会社

【型式】HC-074 314

【仕様】

ASTM C518規格準拠

ISO 8301規格準拠

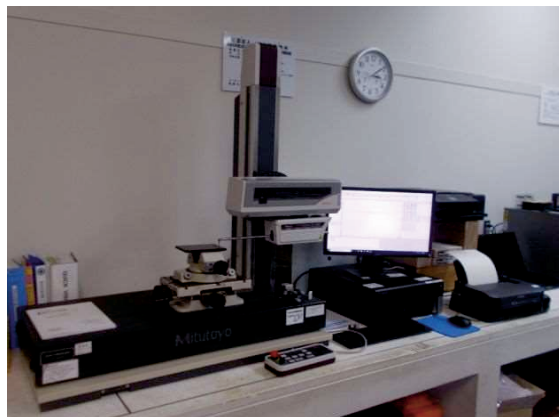
JIS A 1412-2規格準拠

熱伝導率測定範囲：0.005~0.35W/mK

標準設定温度範囲：-20~75℃

試料寸法：300×300mm

試料厚さ：5~100mm



輪郭形状測定機



導入説明会デモの様子



熱伝導率測定装置